

会 議 録

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	福祉課
会議名 (審議会等名)	令和5年度 嬉野東部地域包括支援センター運営委員会 嬉野市認知症初期集中支援チーム検討委員会		
開催日時	令和6年2月7日(水) 14時00分 ~ 15時30分		
開催場所	嬉野市役所 嬉野庁舎 3-1会議室		
傍聴の可否	Ⓚ ・ 不可 ・ 一部不可	傍聴者数	0人
傍聴不可・一部不可 の場合はその理由			
出席者	委員	坂口典子、野村忠之、小池和彦、辻田栄枝、馬場昇、 田邊章弘、松尾智子	
	事務局	山口貴行、富永里江、森亜衣、川内学、井上真平、 竹田こずえ	
	その他	認知症初期集中支援チーム 山口和子	
会議の議題	①地域包括支援センター事業実績報告 ②認知症初期集中支援チーム事業報告		
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 嬉野東部地域包括支援センター運営委員会資料 ・ 認知症初期集中支援チーム検討委員会資料 		
審議等の内容	別紙のとおり		

審 議 等 の 内 容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	福祉課
議 題	・事業業務報告について ① 嬉野東部地域包括支援センター ② 認知症初期集中支援チーム		
内 容	地域包括支援センター事業に関する協議		
審議経過	事務局	1. 開会 2. 委嘱状交付 3. 会長の挨拶・委員の紹介 4. 議事 ①事務局による地域包括支援センター事業実績報告	
	委員	質疑・意見 P6 2. (7)②認知症サポーター養成講座 老人クラブにも出張できるのか？申し込みはいつごろまでに必要か？	
	事務局	可能。申し込みは早めをお願いしたいところ、直前でも調整できることもある。	
	委員	P2 2. (1) (2)表 相談件数 介護に関する相談が圧倒的に多い。項目が抽象的でもっと細分化できないか。内訳なにかわかるか。	
	事務局	介護申請の件数が多く、そこが入口となる。介護の利用についての相談や、見る人がいないのでどうしたらいいかといった相談など広く含めている。	
	委員	認定調査は機械的に判定していると思う。最近では判定が厳しくなってきたのではと感じている。再審査請求の割合はいかがか。	
	事務局	再審査は一定数ある。審査結果への不服申し立てはほぼなく、調査	

	<p>の際に本人だけで受けてしまっていて状況の説明をやり直すための申請などがある。包括としても判定は厳しくなったと感じるところもあるし、調査時に本人が頑張りすぎて認定が軽くなってしまうこともある。認定期間が長くでることもあり、対象の方の状態に合わせて申請が必要。</p>
委員	再審査という手法があることの周知も必要と思う。
委員	認定調査の際、身体的な項目も審査対象として含まれているのか。
事務局	入っている。正確に伝わりにくいのは認知症の症状、本人は出来ると言ったりしてしまう。介護の手間を評価するので、独居の場合と施設入所の場合で、介護度が異なることもある。
	<p>②認知症初期集中支援チームによる実績報告</p>
	<p>質疑・意見</p>
委員	チームの名前。「認知症初期集中」というのが若い人を遠ざけているのではないかと感じている。もっと若い人、認知症にまだなっていない人も関わられるよう検討も必要と思う。
事務局	包括を通しての関りとなっているため、各包括でも認知症初期集中支援チームの取り組みについて広めていくよう伝えていく。
委員	チームの介入の手法は主に訪問がメインだとは思いますが、対象が8市町と幅広く移動距離などの物理的な問題はないか。
認知症初期集中支援チーム	こちらに頼むということは書類の作成だったり、事前の検討であったり手間暇がかかるケースが多いので、基本的には各包括内で終わらせて、こちらに事案としてあがらないことが多い。包括で行う場合は先生や他のスタッフと時間を合わせての訪問が難しい場合があるが、逆にこちらのメリットとしては専任のスタッフとして動くことができ、先生に協力・相談のお願いがしやすく、調整に時間が取られることがなく、移動時間などは問題に上がっていない。
	閉会